

福岡市 内水ハザードマップ

保存版
発行日
令和8年3月

水害から
あなたの家族と
いのちを守る

「福岡市内水ハザードマップ」は、想定される最大の大雨によって、下水道などで排水できずに浸水した場合に、浸水が想定される区域や避難所の位置を地図に示したものです。
このハザードマップは、想定される最悪の内水氾濫において、「大切な家族と命を守る」ことを目的に作成しています。
市民の皆さまには、避難所の位置や避難ルートの確認などの日頃からの備えと浸水防止対策などに、ご活用ください。

●我が家の避難場所

我が家の避難場所	所在地	総合ハザードマップ
家族が離ればなれになった時の集合場所	所在地	各種災害リスクをインターネット上で一元的に確認できます。

●緊急連絡先記入欄

氏名(会社・学校名)	連絡先	氏名(会社・学校名)	連絡先

福岡市総合ハザードマップ 検索

【編集発行・問合せ先】
福岡市市民局防災・危機管理部 防災推進課 〒810-8620 福岡市中央区天神 1-8-1 TEL 092-711-4153

ハザードマップの使い方

ハザードマップは、地域の水害リスクと水害時の避難に関する情報をまとめた地図です。自宅などを確認し、水害が発生する前に表示されている内容を確認しておきましょう。

自宅を見つけてみましょう！



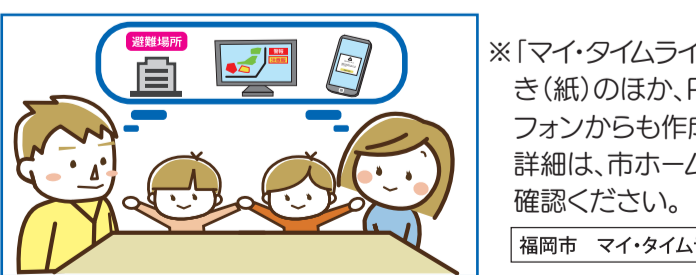
内水ハザードマップで自宅や勤務先の、水害リスクを確認しましょう。

避難場所を決めましょう！



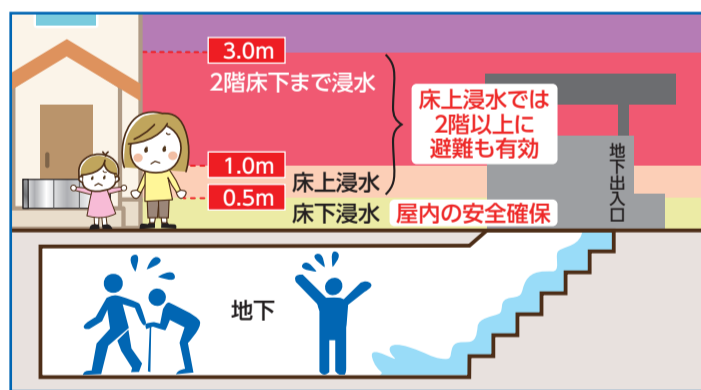
自宅以外に避難が必要な場合は、公民館など市の施設だけでなく、親戚や知人宅など、ご自身に合った避難場所を決めておきましょう。既に浸水が始まっている場合は、2階以上の避難が有効です。

「マイ・タイムライン」を作成しておきましょう！



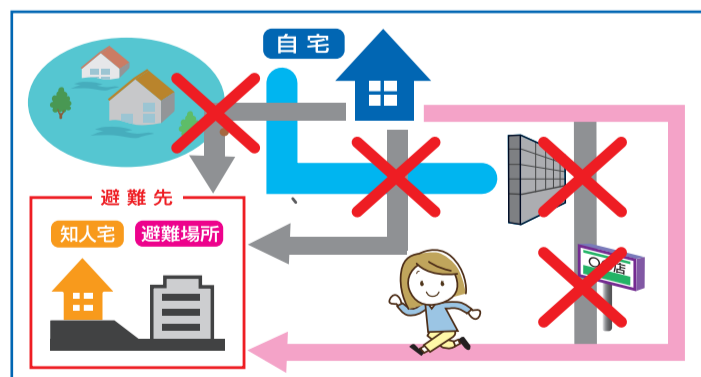
「マイ・タイムライン」とは、大雨や台風などの災害からあなたと家族を守るために、どのタイミングでどのような行動をとるべきかを決めておくものです。家族で話し合い、あらかじめ決めておくことで、いざという時に落ち着いて行動することができます。

適切な避難行動を理解しましょう！



内水ハザードマップで浸水深を確認し、あなたに必要な避難行動を理解しましょう。

避難ルートを決めて、歩いてみましょう！



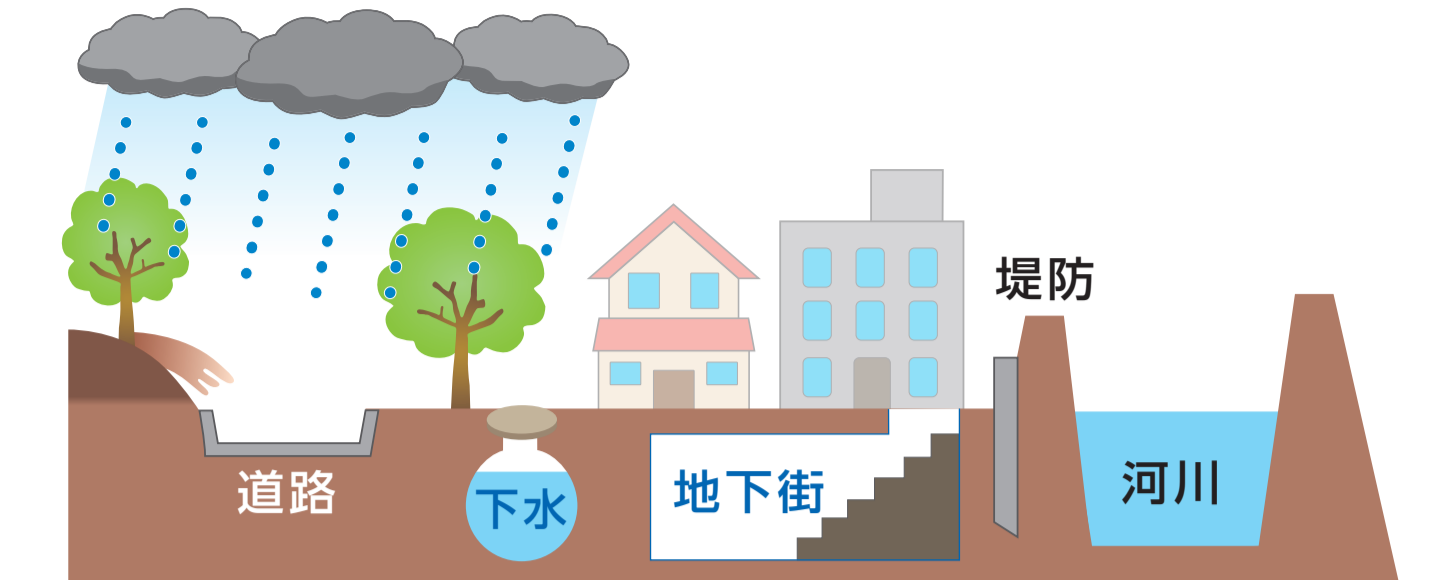
避難ルートを複数決めましょう。また、決めたルートを実際に歩いてみて、安全に避難できるかを確認しましょう。

(マイ・タイムライン作成シート)

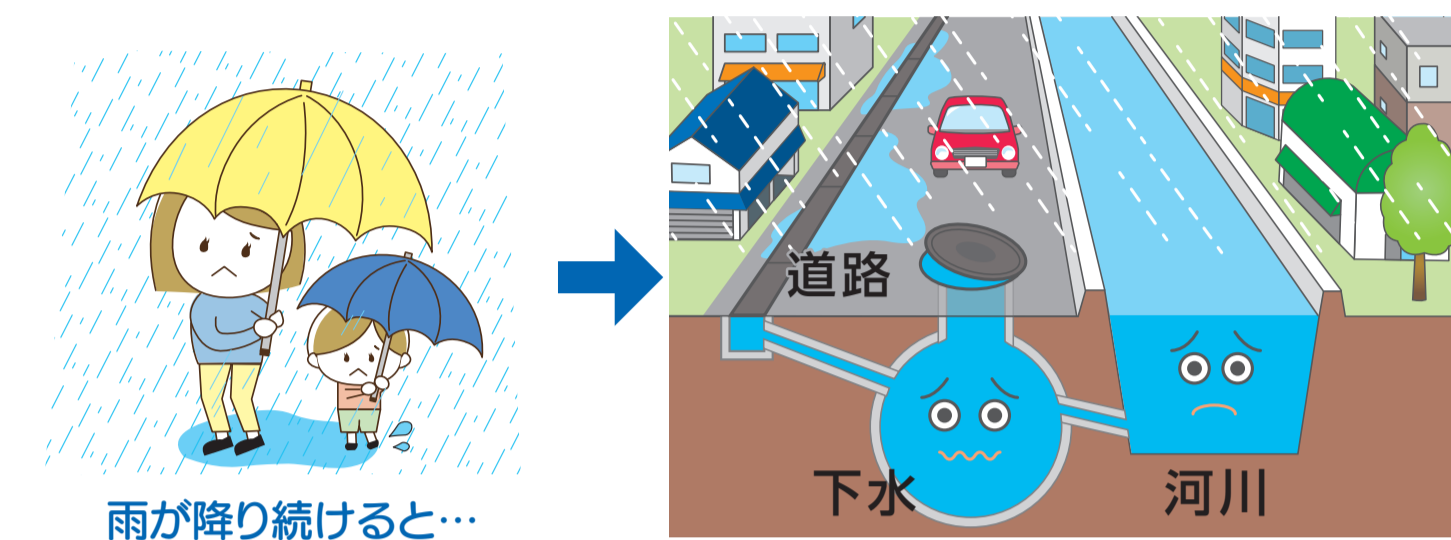


※「マイ・タイムライン」は、手書き(紙)のほか、PC・スマートフォンからも作成できます。詳細は、市ホームページをご確認ください。

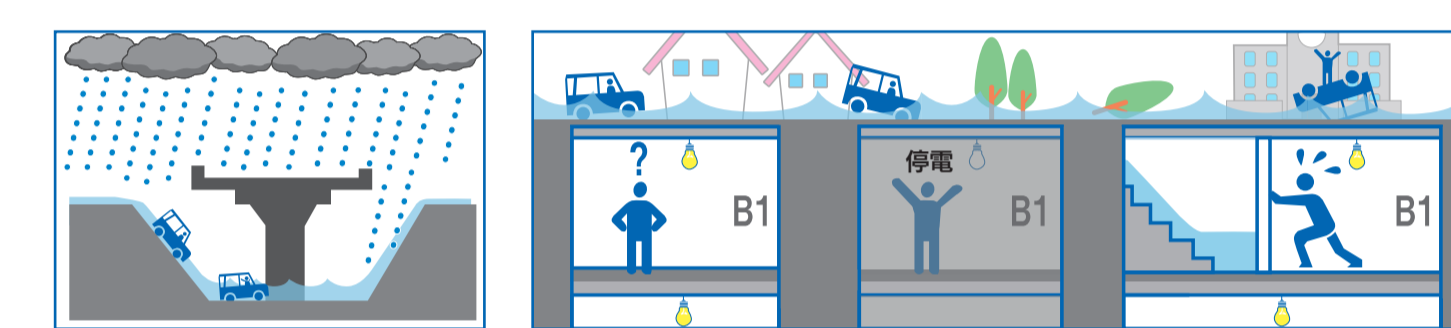
内水氾濫と洪水(河川氾濫)の発生について



宅地に降った雨は雨水ますへ、道路に降った雨は道路側溝などに集まり、下水道や水路等を通して河川に排水されます。



雨が降り続けると…



次のような場所では浸水の危険性が高くなります。特に注意しましょう！

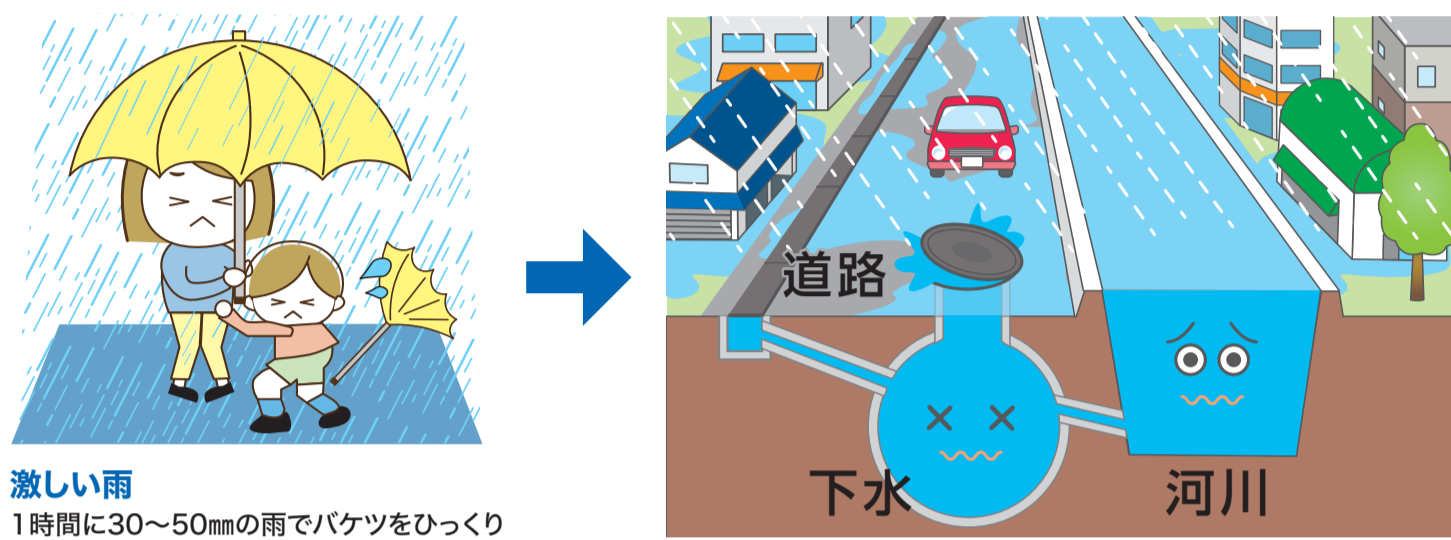
アンダーパスでは、車が水没する恐れがあります。不用意に通行してはいけません。

大雨による洪水や内水氾濫時の地下施設は、外の状況が分からないので大変危険です。停電や、水圧でドアが開かなくなるなど、地下特有の危険も多いので、早めに避難しましょう。事業者の方は、地下にいる人を速やかに地上に誘導しましょう。

内水氾濫の発生



内水氾濫とは、雨の量が下水道などの排水能力を超えたときや、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、浸水することです。



大雨の時はこんな点に注意しよう



▲博多駅地下街に流れ込む雨水(平成11年6月)

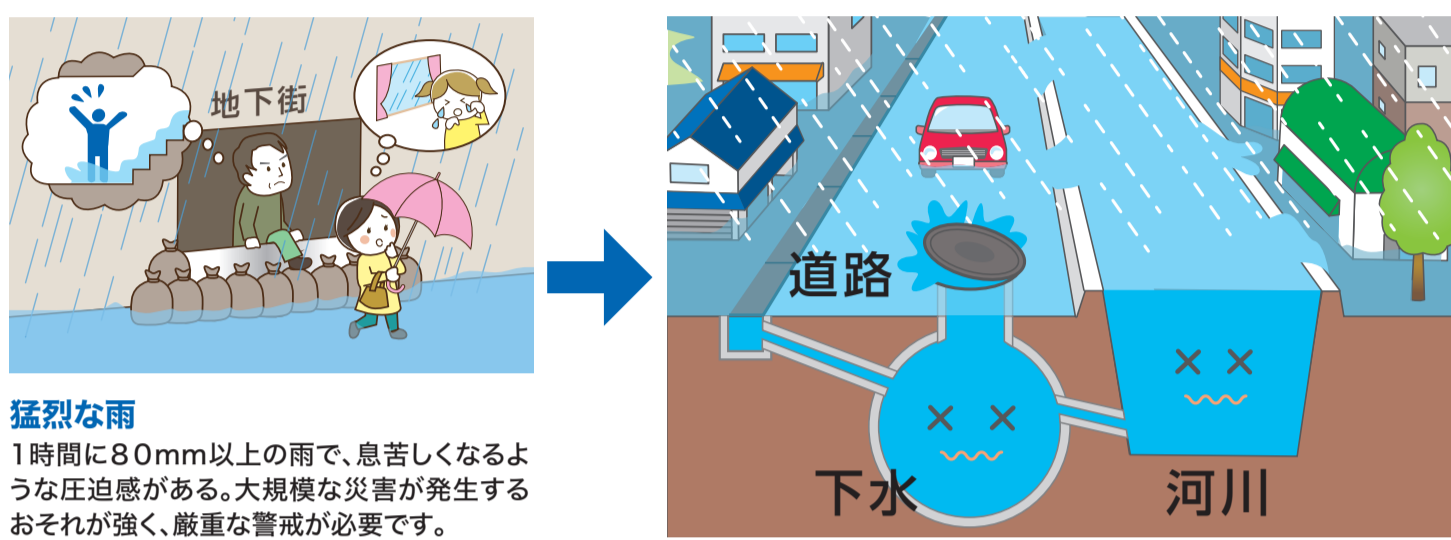
やや強い雨 1時間に10～20mmの雨 地面から跳ね返りて足元がぬれる。長く続く時は注意が必要。

強い雨 1時間に20～30mmの雨 傘をさしてもぬれてしまうほどの土砂降り。側溝や下水などがあふれる。

洪水(河川氾濫)の発生



洪水(河川氾濫)とは、大雨によって河川などの水位が上昇し、堤防を越えて水がふれたり、堤防の土砂が流出して決壊したりすることです。家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こします。



猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨で、息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要です。



激しい雨 1時間に30～50mmの雨 パケツをひっくり返したような雨。道路が川のようなになる。

非常に激しい雨 1時間に50～80mmの雨 水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。

猛烈な雨 1時間に80mm以上の雨 息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害が発生するおそれ強く、厳重な警戒が必要。

内水氾濫から身を守る

内水氾濫に関する情報を理解しよう

避難情報や気象情報などに注意して早めの避難の必要があります。内水氾濫に関する情報を理解して、避難する際に役立てましょう。

河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
警戒レベル 5相当 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
〈警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難!〉		
警戒レベル 4相当 レベル4 氾濫特別警報	レベル4 大雨危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当 レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	避難に時間を要する人は早めに避難・避難の準備など
警戒レベル 2 レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル 1 早期注意情報		災害への心構えを高める

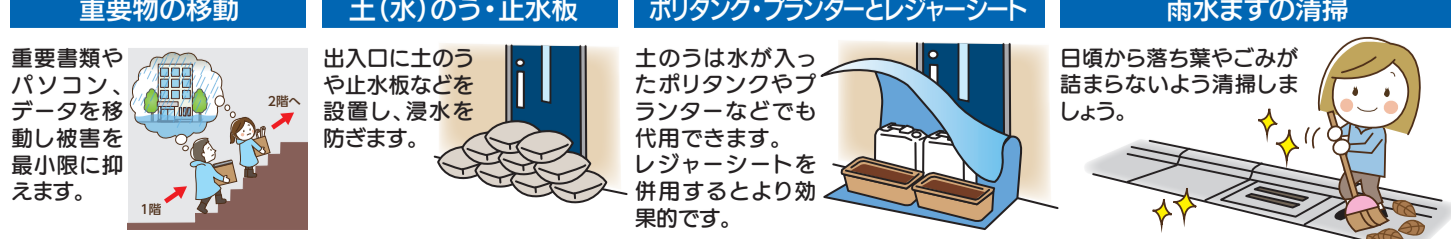
さまざまな災害リスクに備えるため、他のハザードマップもあわせて確認しましょう。

安全に避難するための6ヶ条

- ① 浸水が始まる前に避難をしよう!
- ② 川や橋には近づかない!
- ③ 側溝やマンホールには注意!
- ④ お年寄りや障がいのある方等の避難の手助けを!
- ⑤ 車での避難はひかえよう!
- ⑥ 非常持ち出し品は最小限に!

浸水防止に備えましょう

出入口に土のうや止水板等を設置するなどの浸水防止を実施し、被害を最小限にとどめる工夫が必要です。



防災情報を入手する

災害が起こる前に「事前に」登録しよう

防災アプリ「ツナガル+ (プラス)」
災害時に市と直接つながることのできるアプリです。災害が起きると、近くの避難所や避難経路が地図上に表示されるので、スムーズに避難することができます。また、避難所内での情報共有や市からの支援物資情報などを知ることができ、避難場所や被災状況を発信し、市に支援を求めることもできます。

福岡市 LINE 公式アカウント

避難情報や、大雨等の気象警報、地震情報などをLINEでタイムリーに受け取ることができます。防災情報以外も選択して受け取ることができます。

いざという時に調べてみよう

テレビのデータ放送
災害時、テレビのリモコンのdボタンを押して、気象情報や避難情報を入手できます。

災害時安否確認の方法

災害用伝言ダイヤル (171)
大規模な災害時に、固定電話、携帯電話を用いて安否情報(伝言)を音声で録音(登録)し、全国からその音声を再生(確認)することができます。

録音方法
1. 171に電話をかける
2. 録音したい内容を録音する
3. 録音完了

再生方法
1. 171に電話をかける
2. 再生したい内容を再生する
3. 再生完了

※通話料は、NTT(東西)の回線からの場合は無料です。その他の事業者や携帯電話からの通話料については、各事業者にお問い合わせください。

避難行動を学ぶ

あなたがとるべき避難行動は？

内水ハザードマップで自分の家があるか確認し、印をつけてみましょう。

家がある場所に色が塗られていますか?

いいえ → 色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、他のハザードマップや最新の防災気象情報、避難情報等を参考に必要に応じて避難してください。

はい → 水害が発生する前に安全な場所へ避難しましょう!

- ※ハザードマップは浸水が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。
- 例外
- 水害の危険があっても、次の3つが確認できれば、屋内安全確保(在宅避難)も可能です。
- ① 洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれのある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)の外側である。
 - ② 浸水する深さよりも高いところにいる。(マンションの高層階等)
 - ③ 浸水しても水がひくまでの時間我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある。
- ※浸水時は、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなる可能性があります。

大雨の際、全ての指定避難所が開設されるわけではありません。避難所に避難する場合は、開設状況を市ホームページやニュース等で事前に確認しておきましょう。

大事なポイント!

